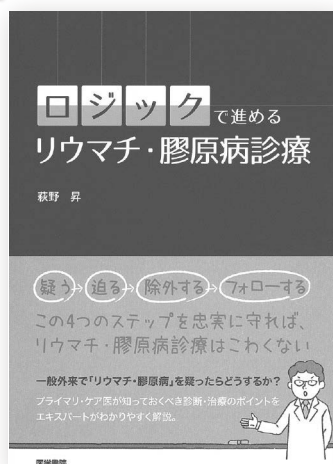


今月の特集関連本 ①

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.887) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

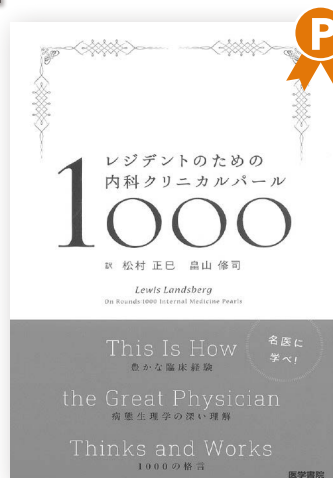


ロジックで進める リウマチ・膠原病診療

萩野 昇=著

本体 3,800 円+税/B5 判・176 頁/医学書院/2018

優れた若手リウマチ内科医・指導医として知られる著者が、その診療ロジックを惜しげもなく開陳した。プライマリ・ケアの場で一般医は、リウマチ・膠原病を「どう疑い」「どう追い詰める」べきなのか、治療薬を「何をもとに決定し、どう使用するのか」などの診療の基本を、著者ならではのロジック (思考経路) をもってわかりやすく示した。すべてのプライマリ・ケア医が読むべき「通読できるリウマチ・膠原病の教科書」の決定版!



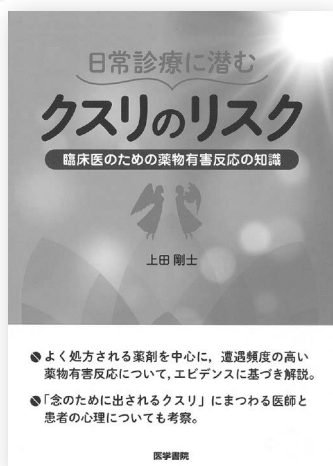
レジデントのための 内科クリニカルパール 1000

Lewis Landsberg=原著

松村正巳、畠山修司=訳

本体 4,200 円+税/A5 変判・320 頁/医学書院/2019

研修医が診療現場で遭遇する複雑な臨床のプロBLEM。いかに決定的な臨床所見を見出し、正確な診断を導くべきか、クリニカルパールで教示。本を開けばまるで優れた指導医と回診 (on rounds) しているかのように内科領域を一巡り。混乱に陥りやすいトピックに絞り、病態生理学的な背景とともに適切な臨床的文脈のなかで学ぶ。これまで得た知識を、どう引き出し、組み立て、活用するか。1,000 の英知でサポートする。第3章「リウマチ学」だけでも115ものパールが!



日常診療に潜む クスリリスク

臨床医のための薬物有害反応の知識

上田剛士=著

本体 2,800 円+税/A5 判・164 頁/医学書院/2017

市販されている薬剤は実にたくさんあるが、一般臨床医がよく遭遇する薬剤と薬物有害反応の組み合わせには決まりがある。本書では、頻度の高い薬物有害反応を取り上げ、特によく処方される薬剤を中心にエビデンスに基づいてわかりやすく解説。

なんと「薬剤性」の膠原病ミミックが多いことか! 『『薬剤性』の膠原病ミミックを疑おう』(原田拓先生、p.770)をはじめ、各頁 (p.801・808・816・818・827) で注意が促されています。